

平成 28 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	08	02	06	188550	交通安全環境整備事業(繰越分)	
総合計画	重点戦略	防災力の強化				
	分野	暮らし				
	政策	2-2	生活基盤の充実			
	施策	1	道路環境の充実			
目的	歩行者の安全確保					
対象	道路利用者、市民					
意図	安全に安心して通行できるようになる。					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
【25年度】 ・歩道整備工事 260m (若葉町天下田線・上町成田線) 2路線 ・融雪設備 280m (上町成田線) 1路線						
【26年度】 ・歩道整備工事 410m (上町成田線・城内吹張町線) 2路線 ・融雪設備 280m (上町成田線) 1路線						
【27年度】 ・歩道整備工事 430m (烏森北中線・四日町山居線・本丸線・吹張町滝ノ沢線・上小舟渡方八丁線・駅前南線・上町成田線(桜町)) 本丸線はH28繰越へ 7路線						
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定		
		後援・協賛	補助・助成	委託		
活動指標 (上記「事業概要」に対応)		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
①	当該年度の歩道整備工事発注件数	件	計画	7	3	
			実績	7	3	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標 (上記「意図」に対応)		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
①	歩道整備率 (H25~H29: 全2,910m)	%	目標	39.0	44.0	
			実績	43.0	51.0	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	<input type="radio"/>	目標値より高い	概ね目標値どおり	目標値より低い		

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)	
平成25年度から平成29年度の5カ年の歩道整備計画延長を基に、それに対する各年度の歩道整備完了予定延長の割合を目標値として設定する。 歩道整備率=歩道整備完了延長/歩道整備計画延長 (5カ年: 2,910m)	
H25実績 275m H26実績 349m H27実績 626m H27までの実績 1,250m H28計画 135m 目標値=1,277m/2,910m=43.88=44% H28までの実績値=(1,250m+237m)=1,487 1,487m/2,910m=51%	
目的妥当性	公共関与の妥当性 ・公共施設である道路の整備であるため妥当である。 <input type="radio"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="radio"/> 妥当でない
有効性	成果の向上余地 ・現況の道路敷地内で有効的に歩道整備、段差解消を実施しているため、予算内での更なる向上は困難である。 ・今後も歩道整備等の要望に応えるため、現在の取り組みを維持し、事業を継続する必要がある。 <input type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="radio"/> 向上余地がない
効率性	事業費・人件費の削減余地 ・歩道整備は、用地取得せずに現況道路敷地内を有効活用するなど工夫して経費の節減に努めている。 ・積算、施工管理に係る事務経費の適正な遂行に必要な、最低限の事務を行っている。 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない
公平性	受益と負担の適正化余地 ・市道の整備であり、地域住民に限らず不特定多数が利用することから、市が整備するものであるため受益者負担は公平、公正である。 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である
総合評価 …上記評価結果の総括	
・市道整備は道路管理者である市が行うものであり、現況道路敷地内を有効活用するなど工夫して歩道整備を進め、コスト縮減等に努めている。	

平成 28 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ト	事業名
一般	08	02	06	188550	交通安全環境整備事業(繰越分)

単位：千円

		27年度 決算額(A)	28年度 決算額(B)	29年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費			36,039		36,039
財源 内訳	国・県		11,527		11,527
	地方債	30,500	6,900		△ 23,600
	その他				
	一般財源	△ 30,500	17,612		48,112

事業期間	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	-------	------	-----------------

部重点施策における目標  
安全、安心で快適な生活基盤の充実に努めます。

事業開始の背景・経緯

歩行者の安全確保のため、歩道の新設、バリアフリー化を実施している。現在は各地域、障がい者団体等の要望に基づき、それぞれのニーズに応える手法により事業を展開している。

事業概要

【25年度】  
・歩道整備工事 260m（若葉町天下田線・上町成田線）2路線  
・融雪設備 280m（上町成田線）1路線

【26年度】  
・歩道整備工事 410m（上町成田線・城内吹張町線）2路線  
・融雪設備 280m（上町成田線）1路線

【27年度】  
・歩道整備工事 430m（烏森北中線・四日町山居線・本丸線・吹張町滝ノ沢線・上小舟渡方八丁線・駅前南線・上町成田線（桜町））本丸線はH28繰越へ  
7路線

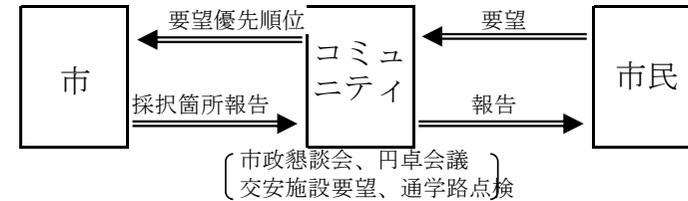
事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

・工事の計画、設計は説明会の開催等により地域住民の意向を十分捉え、ニーズに応える。  
・計画、設計に対する発注者側の精度を上げるため、最適工法、新技術、コスト削減策に対する情報収集（インターネット、情報誌、研修会等の活用）に努める。  
・要望路線の内容を見極めるため、現地踏査により現地を把握し必要性を再確認して地元協議等に取り組み、有効的に路線整備を進める。

担当部署 部名 建設部 課名 道路課 担当係長 駿河世紀 内線 574

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。  
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



【26年度】

- 交通安全施設整備 9路線  
(上町成田線・吹張町滝ノ沢線・上小舟渡方八丁線・烏森北中線・上台朝日橋線  
・南新田西線外・駅前南線・本丸線・吹張町城内線)

事業費 192,622千円

委託料 61,122千円  
工事費 116,500千円  
用地費 9,000千円  
補償費 6,000千円

【27年度】

- 交通安全施設整備 8路線  
(上町成田線（桜町・共同溝）・吹張町滝ノ沢線・上小舟渡方八丁線・烏森北中線  
・駅前南線・本丸線・四日町山居線)

事業費 153,921千円

委託料 50,631千円  
工事費 93,250千円  
用地費 7,040千円  
補償費 3,000千円

<H27繰越事業>

歩道整備工事

・本丸線 C=15,438千円 L=0.064km

電線共同溝

・上町成田線 C=20,602千円 L=0.067km

合計C=36,039千円 (36,205千円) ()内繰越予算

委託料 4,886千円 (5,001千円)

工事費 31,153千円 (31,204千円)